



北風が少しずつやわらいで、春の風に変わってきました。いよいよ今年度もあと一ヶ月。小学校へと胸ふくらますばら組さん。篠山保育園の年長さんとしてしっかり育ち、あとは自分たちが築いてきたものをふじ組さんたちに引き継いでいきます。また、4月に入園、進級したみんなも喜びと緊張のスタートでした。初めて親と離れての集団生活に子も親も不安いっぱい。でも毎日少しずつ少しずつ気持ちがたくましくなり、今では自分の気持ちをどんどん伝えることができるようになってきました。私たち保育者は子どもたちの基本的習慣（食事、着替え、排泄）の自立をめざし、子どもたち自身も自分でできるようになった喜びと充実感を味わってもらえれば、そして友だちと出会い、いろいろな人間関係を経験し一つずつ成長してもらえればと願いつつ保育をしてきました。そしてそれは現在も進行中ですが、これらのことは、保護者のみなさんあつてのことです。今後ご家庭の力を借り、一人一人の子どもたちがその子らしく成長していくことを願い保育をしていきたいと思っています。これからご協力をお願いします。また、事業後援会の役員さん方にも行事のサポートをしていただきました。本来なら、ゆっくりお子さんと行事を楽しんでいただくものなのですが、保護者の皆さんを代表してお手伝いをいただいたことに感謝申し上げます。



みんなの前だと人気者なんだけど!?

一対一になると距離をおかれるんだよね!



なかよしせんせい 出番です!

もうすぐ1年生になるばら組さんが、すみれ組、たんぽぽ組、さくら組に数人ずつ入り、小さなおともだちのお世話をしたり、一緒に遊んだりする「なかよしせんせい」という活動があります。この活動は、ばら組さんに「自分の成長に気づいてもらいたい」という願いがあって行っています。小さい子のお世話をしたり、自分の気持ちを抑えて気配りをしたりと大変だと思いますが、「自分が人の役に立っている」ということを感じてもらえたらいいなあと思い、取り組んでいます。



3月の行事予定表

- 1日(木) 剣道教室
- 2日(金) ひな祭りお茶会
- 6日(火) お弁当の日
- 7日(水) 誕生会
- 10日(土) 剣道納会・給食試食会(ばら組)
- 13日(火) 卒園式リハーサル
- 14日(水) お別れ会
- 18日(日) 第40回卒園式
- 20日(火) 避難訓練
- 24日(土) 園内研究会
- 25日(日) 第41回入園式
- 31日(土) 29年度保育終了(通常保育)



31日、ご都合のつかれる方は早めのお迎えにご協力頂けると助かります。(新年度準備のため)

3月は園だよりが2回出ますので楽しみに!

おにはそと ふくほうち!

2月2日、篠山保育園に鬼たちがやってきました。「わるい子はいねかあ」、「泣き虫の子はいねえかあ」とばかりに各部屋を暴れまわりました。鬼たちは人情深く、小さい子がいるお部屋は子どもの様子をうかがいながら前に出たり、後ろにさがったりと当たりさわりのない程度で暴れていました。3才以上のクラスになると勢いよく部屋に入っていました。意外と豆攻撃に弱くよく倒れる鬼たちでした。最後は「参りました」と言って神社のお宮の中に逃げていきました。



子育て中、親はいろんなことで悩みます。「何をしたらいいのかしら?」。何もかもいつべんに解決しようと思わないで、一步一步少しずつよい方向に自分を変えていこうと思うことが大切です。今回の「質問箱」です。

『性格のまったく違う兄弟です。下の子ばかりかわいがってしまいます』。

次男は活発で「ママ、ママ」と甘えん坊。長男ははっきりしない性格の上、へんに頑固です。正直いうと長男より次男の方がずっとかわいい。長男がなんとなく暗いのは、私のこんな気持ちに気づいているからかもしれません。大丈夫でしょうか(5歳、3歳)



大丈夫ではありません。かわいがった子は、かわいくなっていきます。兄弟の片方の子がかわいくないというのは、かわいがり方が足りないのかもしれませんが。初めての子育てを体験するので、長男や長女など第一子の時は不安がたくさんあるのも当然です。それに比べると、第二子、第三子は子育てにゆとりが生まれ、親も楽しむことができる、十分にかわいがることもできるのでしょうか。そのことを意識して、上のお子さんをたくさんかわいがり努力をしてください。

子育ては順番が大切。
何をするにも、生まれてきた順番を心がけるといいと思います。



「何を食べたい?」と聞くときにも、好きなお菓子を選ばせる時も、お風呂で身体を洗ってあげる時も、上の子が最初。「お兄(姉)ちゃんだから後で」なんて言わない。下の子は平気です。生まれてきた順番ですから。上の子は、最初は自分だけのために親がいたのに、弟妹が生まれて状況が変わったのですから、つらい。ひがみつぼくなるのも不思議ではありません。しかし、親が「お兄(姉)ちゃんが先ね」と接していると、自立心が育ち、自分から「弟や妹が先でいいよ」とゆずるようになっていきます。

「子育てでいちばん大切なこと」著:佐々木正美

